

報道関係のみなさまへ

一般社団法人 日本ゴールボール協会

「東京2020パラリンピック競技大会における第二次推薦内定選手について」

一般社団法人 日本ゴールボール協会（会長：梶本美智子、東京都足立区）は、2月15日の理事会にて、「東京2020パラリンピック競技大会」の女子第二次推薦内定選手を決定しましたので、お知らせいたします。

女子



浦田 理恵

Urata Rie

所属 シーズアスリート ※2月18日訂正

強化ランク	B
ポジション	センター
競技歴	14年
障害名	網膜色素変性症
生年月日	1977年7月1日
身長	159cm
クラス	B1
出生地	熊本県南関町
出身地	熊本県南関町
現在活動地	福岡県福岡市

リオパラリンピックで金メダルを獲得しているトルコに対して、近年まれにみるディフェンス力を発揮し、チームの勝利に大きく貢献したことから今回の選出に至った。

これまでの経験を生かした統率力、ゲームコントロール力など、選考対象者の中でも、今回の大会では抜きに出た存在感を発揮した。

東京パラリンピックでも守備の要として活躍が大いに期待できる。



小宮 正江

Komiya Masae

所属 シーズアスリート ※2月18日訂正

強化ランク	A
ポジション	ライト
競技歴	18年
障害名	網膜色素変性症
生年月日	1975年5月8日
身長	167cm
クラス	B1
出生地	福岡県福岡市
出身地	福岡県福岡市
現在活動地	福岡県福岡市

今大会では攻守にわたり、安定した能力を発揮した。

24分間戦う能力より、ゲームを動かす力、これまでのパラリンピックで得た経験、ベテランだからこそできる行動力、オフense型の選手として活躍が期待できることから今回の選出に至った。

市川喬一 女子ヘッドコーチのコメント

〈選出理由〉

今回、小宮選手、浦田選手を選んだ最大の理由として、選考対象大会で優秀な成績を収めたことは言うまでもありませんが、既に選出されている中堅選手の力を引き出させるキャリアがあり、パラリンピックの舞台を知り尽くしているベテランの力が必要だと判断し、今回の選出に至りました。

浦田選手は、ディフェンスの要として、小宮選手は、攻守のキーマンとしての活躍を期待しています。



第二次推薦内定選手のコメント

浦田理恵選手

この度は代表内定をいただきありがとうございます。競技を続けている中苦しい状況も沢山経験していますが、支えていただいている方々や仲間が存在にいつも助けられています。悔いのない準備をし、人としても成長しながらチームの力となります。今後とも応援よろしくお祈いします。

小宮正江選手

内定を頂きありがとうございます。
2020東京パラリンピックで世界一を獲得するため、自分らしく強気な心とプレイでチームに貢献できるよう今後も日々精進して参ります。
ご声援どうぞよろしくお願いいたします。

第三次推薦内定選手について（女子）

2020年1月17日(金)～19日(日)にフィンランドで行われた、「第10回 パジュラハティゲームズ」で3名の選手を選出する予定であったが、技能及び成績から今大会では2名の選出にとどめ、残り1名については、3月13日(金)～15日(日)にカナダで開催される「2020バンクーバー ゴールボール グランドスラム大会」で選出し、3月の理事会で承認後にお知らせします。